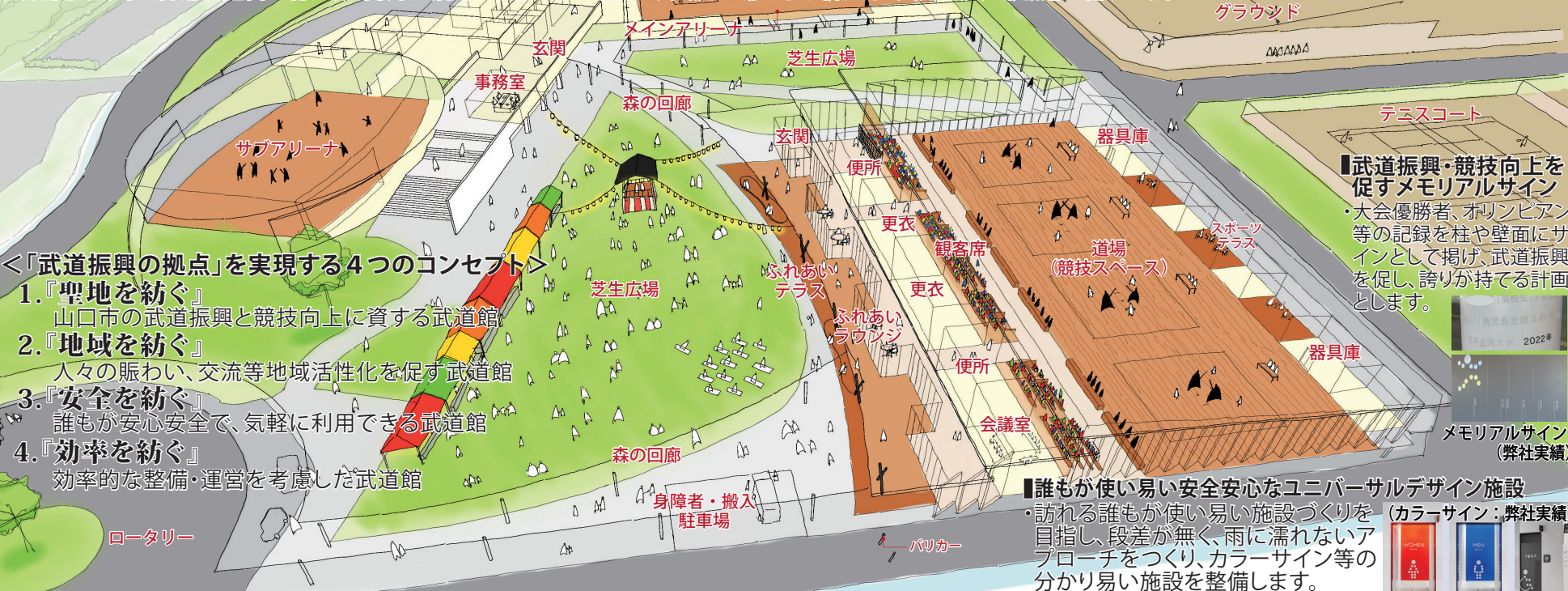


ア. 配置計画の考え方

活かし、つなぎ、交わる、賑わいと交流を生み出す「武道振興の拠点」

既存施設や芝生広場を活かしながら、新たな武道館と一体的に利用できる計画とすると共に、周辺の美しい山々の景色と調和し、誰もが安心して、気軽に利用でき、大規模大会時も容易に運営が行え、屋内外に活動が溢れ、憩い、賑わう交流の場となる新たな「武道振興の拠点」を創ります。



＜「武道振興の拠点」を実現する4つのコンセプト＞

- 『聖地を紡ぐ』
山口市の武道振興と競技向上に資する武道館
- 『地域を紡ぐ』
人々の賑わい、交流等地域活性化を促す武道館
- 『安全を紡ぐ』
誰もが安心安全で、気軽に利用できる武道館
- 『効率を紡ぐ』
効率的な整備・運営を考慮した武道館

02 新たな武道の聖地となると共に誰もが気軽に利用できる施設

■明快なゾーニングで誰もが利用し易い施設

- 道場、客席、諸室、廊下と各エリアを明快なゾーニングとし、段差のないユニバーサルデザイン施設とすることで、誰もが利用し易い施設とします。

■武道振興・競技向上が高まり、武道の聖地となる地場産木材を使った「森の武道館」

- 市の道場として、大会競技が行える広さを持つ道場とすると共に、市産材の木材を積極的に活用した「森の武道館」を創ります。

■多目的に利用可能な生涯スポーツの場

- 武道に限らず、ヨガやダンス等誰もが気軽に多様なスポーツに親しめる施設をつくります。また、災害時には、避難所として利用でき、テラスは炊出し場として活用出来ます。



イ. ライフサイクルコストの縮減、環境配慮への考え方

合理的な施設計画と省エネ・省資源手法により、ライフサイクルコストを縮減した経済効率の高い環境配慮型施設

01 合理的な施設計画でインシャルコスト削減

■整形かつコンパクトで合理的な設計

- 無駄のない整形かつコンパクトな建物計画とする事で、躯体や外壁・屋根面積を減らした経済的な計画とします。

■段々形状で適切な階高により躯体費削減

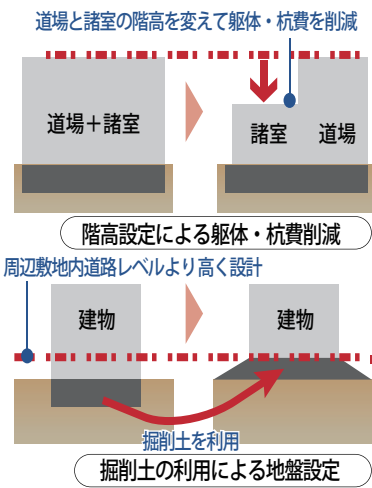
- 道場部分とその他諸室の高さを変えることで、躯体・杭費を削減した計画とします。

■工期短縮を図る合理的な建材・汎用品の選定

- 各ディテールの納まりの標準化・統一化を図ると共に、使用建材や機器類を標準品または、汎用品を採用し工期短縮を図ります。

■掘削や残土処分費の削減

- 工事で発生する掘削土により、建物まで摺り付ける計画とすることでコスト削減します。



03 様々な大会やイベント時にも相互に利用しやすい施設計画

■大会時における観客と選手の明快な動線分離

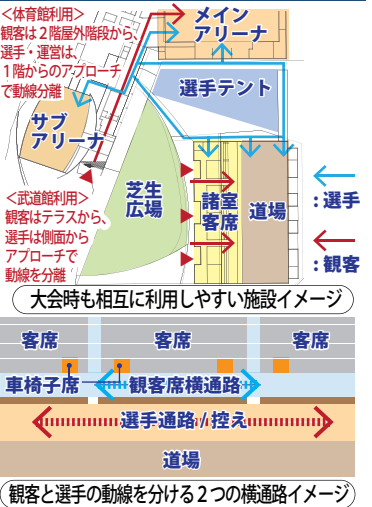
- 既存体育館 1 階を選手・運営、二階を観客動線とします。また、武道館は南側を選手、北側を観客動線と明快に分けることで、大会時にも容易に相互に施設を利用できる計画とします。

■テラスからの履き替えで容易なアプローチ

- 大会時は施設の移動が多いため、履き替えのある武道館の出入りを一時的にテラスからできるようにすることで煩雑にならない大会運営を行うことが出来ます。

■客席と選手動線を分ける2つの横通路

- 道場内に客席を設けると共に、選手用、観客席用通路と2つの横移動できる通路を設け、動線を分けることで、選手が試合に集中できる環境を整備します。



01 既存の環境特性を活かし、賑わいと交流をつくり出す施設配置

■芝生広場を最大限確保し、体育館と一体的に活用ができる南北軸配置

- 体育館、芝生広場と一体的に活用でき、武道館ができることで、更にパーク全体に賑わいと交流が生まれる計画とします。

■緑と山に囲まれ風景と調和するシンボル

- 施設を山なりの形状とすることで、圧迫感を低減すると共に、周辺の山々や広場、施設等の環境と調和し、心地よい空間となるパーク内の新たなシンボルを創ります。

■視認性が高い向かい合う2つの主玄関

- 体育館と武道館の玄関が向き合う配置とすることで視認性が高く、二つの施設が連携しやすく管理しやすい計画とします。

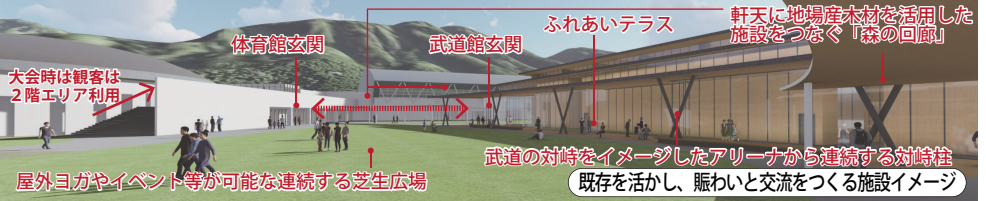
■広場を中心に施設をつなぎ、様々な動線利用が可能な回遊性のある「森の回廊」

- 広場を中心に施設同士をつなぐ回遊性を持つ森の回廊は、日常時、大会時、搬入時等様々な動線利用及び分離が可能となります。



■雨に濡れないロータリーと歩車分離

- 既存ロータリー、身障者、搬入用駐車場と完全な歩者分離を図ると共に、雨に濡れずに施設へ行き来できる計画とします。



04 屋内外に活動が溢れ、憩い・賑わう市民の交流拠点

■広場を囲む交流プロムナードとふれあいテラス

- 指導者講習、研修会後の打合せ等が行えるふれあいラウンジや、憩い空間となる「ふれあいテラス」と屋内外に活動が溢れ、憩い、賑わう交流プロムナードを整備します。

■様々なイベント利用が可能な芝生広場

- 大会だけでなく、市やキッチンカーの食フェス等、様々なイベントが施設、テラス、広場が一体的に利用できる計画とすることで、地域の賑わいを創出し、武道振興につながる計画とします。

■パーク全体の憩いの場「みんなの縁側」

- 武道館の外周に軒のある日除けテラスを設けることで、他エリアの見学・休憩場として機能する憩いの場「みんなの縁側」として整備します。



02 様々なエネルギー低減化手法によりランニングコストを削減し、地球にやさしい環境配慮型施設

■エネルギー低減化を図り、光熱水費の削減

- 屋根・外壁は、高断熱性能のある材料、開口部は、LOW-E複層ガラスを採用します。
- 道場内の空調は、人がいる範囲を空調する「居住域空調」を採用します。
- 夏季は熱だまりを排気、冬季は熱だまりを床に向けて吹き出すことで、道場内の空気を流動させ、年間を通して空調負荷の低減を図ります。
- 高効率型の機器の採用により、換気用の取り入れ外気と室内の余剰排気を全熱交換機を利用して熱交換し、外気負荷を低減します。
- 自動水栓、自動個別感知式小便器、大便器は節水器具を採用し上下水道を低減します。
- 照明システムは、きめ細やかなゾーン分けを行い、電力の無駄をなくす計画とすると共に、高効率で長寿命なLED照明器具を採用し、更新の頻度を減らします。
- 人感センサーの照明制御により、無駄な点灯を防止します。

■長寿命でメンテナンスが容易な計画で維持管理費の縮減

- 更新性や修繕に配慮した汎用性の高い経済的で耐久性がある材料、機器の選定、清掃性に優れ汚れにくい材料を採用し、長寿命化を図り、維持管理費を縮減します。

■光・風・雨等、山口市の気候風土を積極的に活用した効率的な環境配慮型施設

- 卓越風とハイサイド窓による温度差換気を活用した自然換気が行える計画とします。
- 屋根の反射を活かしたライトシェルフや壁面を斜めにした日射遮蔽窓により、室内に入る直接光を遮ると共に、柔らかい光が注ぎ込む自然採光を活かした明るい施設づくりを行います。また、屋根部分には、遮熱塗料を検討します。
- 屋根部分に、太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの有効活用を図ります。
- 雨水を活用し、屋外の外溝の散水や便所の洗浄水の利用を検討します。

